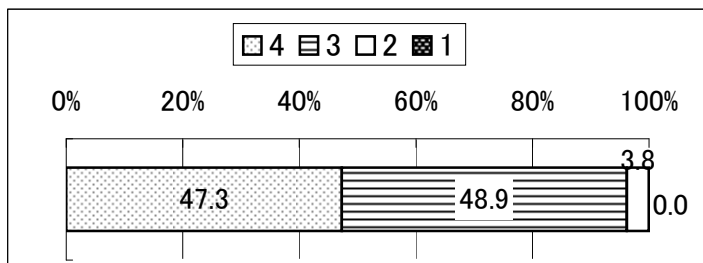


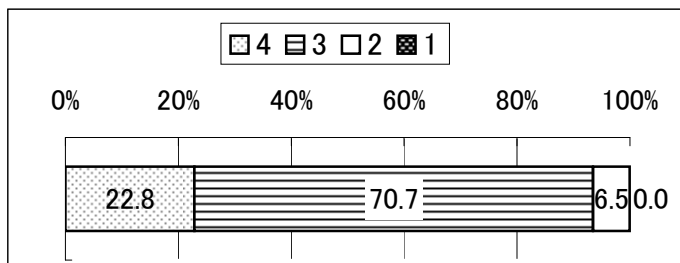
Myおにぎりの日・野菜のおかずの日 生徒の評価(1.2年生)

4. たいへんそう思う B. どちらかといえばそう思う
 2. どちらかといえばそう思わない 1. 思わない

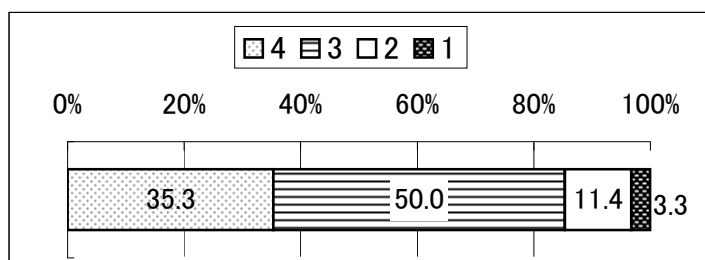
ア. 家族の苦勞が分かるようになった



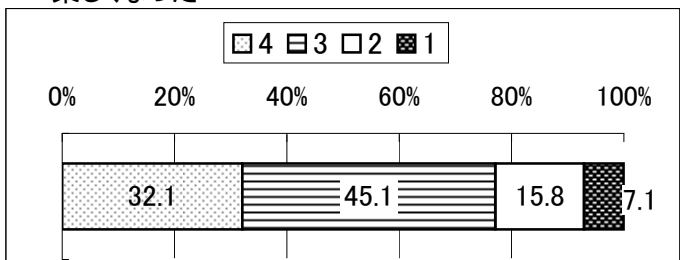
イ. 食材に関心を持つようになったり、知らないことに気付くことができた。



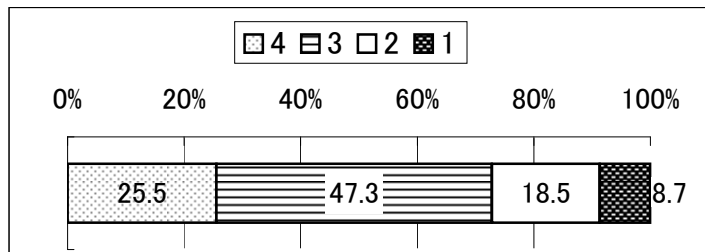
ウ. 料理の技術が身についた



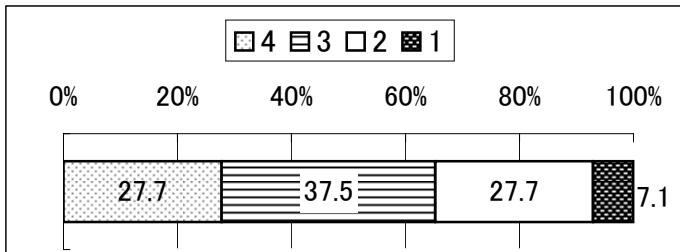
エ. 料理をすることに関心が持てるようになり、楽しかった



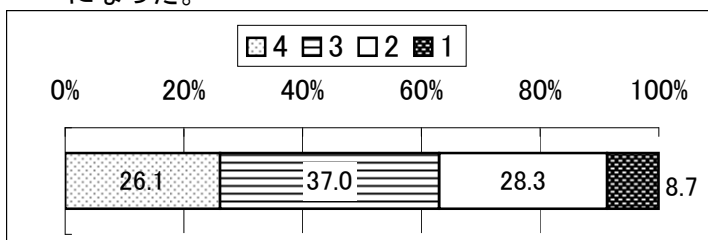
オ. 台所に立つようになった。



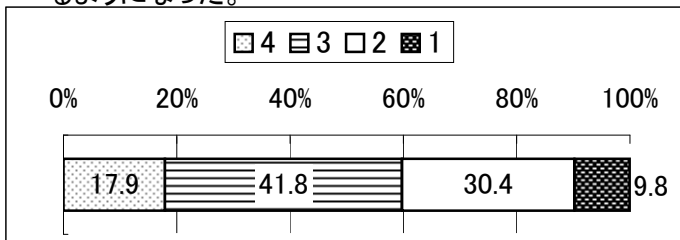
カ. 家族の会話が増えた



キ. 料理をしたり、料理の手伝いをしたりするようになった。



ク. 食事の栄養バランスや、組み合わせについて考えるようになった。



生徒のみなさんへ

料理をする技術や能力を持つことは、食生活を豊かにするだけでなく、「脳」の発達にもとても効果的です。これからも積極的に料理作りに関わっていきましょう。そして、身に付けた料理の技を生かして、自分でも料理や料理の手伝いをしたり、食事の栄養バランスや組み合わせについて考えて、改善できる人がもっともっと増えて欲しいですね。

保護者の皆様へ

①メニューを考える、②肉や野菜を包丁で切る、③フライパンで炒める、④お皿に盛りつけるといった調理のどの過程をとっても、前頭前野がしっかり働きます。作業をした直後に「できたね」「すごいね」といった簡単なほめ言葉をかけると前頭前野全体の働きが急激に上昇します。料理をすることは、このように脳にどんどんよい反応を起こすことができるのです。親子一緒に料理すると、さらに効果が高くなるそうです。

子どもたちの「夢を実現する力・生きる力」を培うためにも、子ども自身が料理を作れるようになるよう、今後とも子どもたちへのご支援をお願いいたします。